

こうべまちづくりセンターニュース

あーばんとーく

平成18年 2月号 (通巻 第102号)
発行: こうべまちづくりセンター
〒650-0022
神戸市中央区元町通4丁目2番14号
こうべまちづくり会館内
電話 078-361-4523 ・ Fax 078-361-4546
URL:<http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

平成18年度こうべまちづくり学校基礎講座募集

協働と参画のまちづくりを目指してまちづくりの基礎を学ぶ講座です。

	日程	テーマ	内容	講師
1	5月9日 (火)	神戸のまちの歴史	神戸の歴史を通して、神戸のまちの成り立ちを学びます	園田学園女子大学教授 田辺真人氏
2	5月16日 (火)	神戸の 安全な都市づくり	安全なまちづくりのための神戸の都市づくりと、地域のコミュニティの大切さを学びます	神戸大学都市安全研究センター教授 沖村孝氏
3	5月23日 (火)	防犯から見た まちづくり	安全・安心なまちづくりにおいて求められるコミュニティ ^{りよ} カの大切さについて「防犯」の視点から学びます	日本女子大学人間社会学部教授 清永賢二氏
4	5月30日 (火)	地域のまちづくりの 事例から	各地域のまちづくり活動を支援している専門家の報告をまじえ、まちづくりにとって何が大切かを学びます	神戸大学工学部助教授 三輪康一氏 コンサルタント 岩崎俊延氏・山本俊貞氏 松原永季氏

※内容については変更することもあります。

- ◆ 会場 こうべまちづくり会館 ◆ 時間 午後6時30分～8時30分(第4回のみ8時45分終了)
- ◆ 定員 80名(応募者多数の時は抽選) ◆ 受講料 ¥1,000(4月上旬に案内と納付書をお送りします)

◆ご希望の方は、氏名(フリガナ)/住所(郵便番号)/電話番号/これまでの受講の有無(基礎講座又は専修講座)/性別/年齢(生年月日)、よろしければまちづくり協議会・自治会などの地域団体の役職/職業等もご記入の上、

ファックス(078-361-4546)/ハガキ(〒650-0022 神戸市中央区元町通4丁目2番14号)
E-mail (mati2@kobe-toshi-seibi.or.jp)でこうべまちづくりセンターまでお申し込みください。

※まちづくりセンターのHP (<http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/index.htm>)からも申し込みできます。

◆申込期間 ～3月17日(金) 必着

※ご記入いただいた個人情報は、まちづくり学校に係る連絡、資料の送付、個人を特定しない統計の作成、まちづくりに関する情報の案内(希望者のみ)を行うために利用させていただきます。

●秋には、各分野に分かれてまちづくりについてより深く学んでいただく「専修講座」を開催します

コース	コース名	回数・定員	実施時期等
A	地域活動「ちえぶくろ」の活用講座	5回・30名	9月～10月
B	「安全で安心なまちをつくる」防災・防犯コース	6回・80名	9月～2月
C	「安全で安心なまちをつくる」コミュニティづくりコース	6回・50名	9月～1月
D	まちなみゼミ	5回・40名	10月～2月
E	まちづくりゼミ～地域からのまちづくり～	4回・50名	9月～12月
F	まち歩き実践ゼミ～まちづくりの実例を通して～	4回・40名	9月～12月
G	まちに刻まれた土木を訪ねる	3回・40名	9月～11月

※募集は7月に予定、あじさい市民大学夏号等でお知らせします。 ※講座の内容、回数、定員、実施時期については変更することがあります。

クロスロードin竹の台 開催!

■竹の台でクロスロード開催!

1月14日(土)に西区の「竹の台防災福祉コミュニティ」がリス
クコミュニケーション
の理解を深
めるため「ク
ロスロード」
を開催しま
した。当日は
約40名の
参加者のもと、にぎやかに防災・防犯について議論が行な
われました。



例えば

設問4 あなたは…避難所の責任者

避難所に避難してきた住民の中に、家族同然の犬を連れてきた一家がいる。おとなしい犬だが、出て行くように言うか?

Yes:「避難所はいろいろな人が集まる公共の場であり、どうしても動物が苦手な人もいるから、避難所からは出てもらうように言う。」

No:「身よりもなく犬だけが唯一家族という人もいる場合、避難所から出て行けというのはさすがにできない。」

というようにいろいろな意見が出ました。

クロスロードでは参加者自身がいろいろな条件を考え判断します。その条件により**Yes**にもなるし**No**にもなります。いろいろな条件を考えることは、いざというときに判断する上でもとても重要であり、危機管理には必要なことです。

また**Yes・No**の意見を出しますが、正解というものはありません。いろいろな人の考え方を聞くことにより、考え方の違いや、そこから発見する気づきを参加者が共有することが重要なのです。

平成7年の震災時には被災地で犬8万匹、猫11万匹が飼われていたと言われており、考えておかなければならない問題の一つです。



今回のクロスロードでは個人対抗、グループ対抗で得点を競い、上位の人には賞品が用意され、参加者も楽しみながらゲームを行ないました。



最後の〈ふり
返り〉では「こ
れだけの難しい問題について、手軽にみんなで議論することができた!」「いろいろな人の意見を聞いて良かった」というような意見が出ました。

ちなみにその他の設問、クロスロード結果は次頁の通りです。皆さんもクロスロードに参加したつもりで設問に回答してみてください。皆さんの判断はそれぞれ**Yes・No**どちらになるでしょうか?

➡ クロスロードって何?

クロスロードは、平成7年の震災について、京都大学防災研究所が中心となり、神戸市職員の体験談を研究し、開発した防災意識を高めるためのゲーム型教材です。

震災時は、少ない情報の中、様々な決断(**Yes・No**)を早急にしなければいけない場面が数多くありました。

例えば

**激震によって市庁舎が全壊状態に。しかし、災害対応のために、必要な書類は、倒壊の危険もある庁舎内の事務所にしかない。
→あなたは立ち入り禁止の命令を無視して書類を取りに行く?**

こういうものが設問となり

Yes Noの判断を瞬時に行なわなければなりません。

これは実際起こった話です。このような緊急の判断を要する設問をおよそ10人以下のグループに分かれて行います。そしてその理由を参加者相互が議論し、いろいろな人の考えの違いを知り、意識を高めようとするものです。多数派には「青ざぶとん」、1人だけ違う意見の人の場合は「金ざぶとん」という得点がつき(得点のつけ方は次頁の表を参照して下さい)、ゲームの要素も持ち、楽しく参加することができます。



竹の台のクロスロードでは、防災と防犯についての設問が用意され、参加者で議論しました。

■みなさんの地域でも試してみませんか？

竹の台では防災・防犯について議論しましたが、クロスロードは地域で起こっている様々な問題についても応用可能だと考えられます。

ご興味のある方は

こうべまちづくりセンター 露口：Tel078-361-4523

神戸市危機管理室 柿本：Tel078-322-6487

までご連絡下さい。

(神戸クロスロード研究会)

竹の台クロスロード結果です

☆竹の台クロスロード設問

設問1 あなたは・・・被災者

地震で家は半壊状態、家族そろって避難所へ。ただ日頃の備えが幸いして、非常持ち出し袋には水も食料も3日分はある。でも、避難所には水も食料も持たない家族がたくさんいる。

その前で非常持ち出し袋をあける？

設問2 あなたは・・・お母さん

「安全」との診断がおりた避難所暮らしは、余震が続く中では安心だが、このところの寒さで風邪が大流行中。幼

い我が子に風邪がうつるのではと心配。

避難所を出て半壊状態の我が家に戻る？

設問3 あなたは・・・お父さん

会社にいる。地震直後。交通は完全にマヒ。家族と連絡がとれず無事かどうかが気になるが、上司として部下の安全の確保をまず優先すべき責任もある。

会社に残るか、家に帰って家族の無事を確認するか？

設問5 あなたは・・・「住民」または「こども」

まちで声かけ運動をすることになった。毎朝子供たちに「おはよう」と声をかけるが、子供たちから「ウザイ」という目を向けられる。

○住民：声かけを続ける？

○子供：大きな声であいさつする？

設問6 あなたは・・・住民

散歩の途中、スーパーの前で「この辺にあるハマさんの家を知りませんか」とサングラスをかけた男に声をかけられた。ハマさんの家は知っている。

ハマさんの家を教える？

☆竹の台クロスロードのグループ対抗の結果

		1班	2班	3班	4班	5班	6班
設問1	Yes	(4)	3	(N)	6	(3)	6
	No	3	(4)	(1)	2	Y	(1)
設問2	Yes	(1)	(N)	(1)	(N)	0	(1)
	No	6	6	6	(7)	(N)	6
設問3	Yes	(4)	(5)	Y	(7)	3	(N)
	No	3	2	0	(1)	Y	(4)
設問4	Yes	(4)	(4)	(4)	(5)	(Y)	2
	No	3	(Y)	3	2	(5)	(N)
設問5	Yes	6	(Y)	6	(Y)	(Y)	6
	No	(1)	(1)	(1)	2	(1)	(1)
設問6	Yes	(1)	2	(N)	3	3	(N)
	No	6	(5)	(4)	(4)	(N)	(4)
各班の得点		4	5	4	4	4	3

【個人での得点について】

- ・ 数値は班内でのYes・Noの人数。
- ・ ○は得点を得た意見。1人だけの意見の場合は「金座布団」で、(1:多)以外の(少:多)の多数意見の場合は「青座布団」となり得点となる。

【班での得点について】

- ・ 班内での多数派意見を班としてのYes・Noとする。
- ・ ○は個人での得点のつけ方と同様とする。

まちづくり会館 ライブラリーニュース

新着図書のご紹介

名称	大分類名	著者名	発行元	発行年月	頁数
エコロジーと都市化にもとづく地域デザイン	都市	法政大学大学院	学芸出版社	04年 6月	189
中心市街地再生と持続可能なまちづくり	都市計画	中出文平	学芸出版社	03年1 1月	207
テクノスケープ	景観	岡田昌彰	鹿島出版会	04年1 0月	188
構造物の視覚的力学	景観	石井信行	鹿島出版会	03年 2月	197
町屋と人形さまの町おこし	まちづくり	吉川美貴	学芸出版社	04年 7月	198
オーダーメイドの街づくり	まちづくり	鳥海基樹	学芸出版社	04年 4月	302
川づくりをまちづくりに	まちづくり	樋口明彦	学芸出版社	03年1 2月	207

美しい景観

神戸シンポジウム

- 日時 2006年2月20日(月)
午後1時30分から4時30分
- 会場 神戸商工会議所 神商ホール
ポータルライナー「市民広場」駅より約5分
神戸市中央区港島中町6-1
TEL:078-303-5801
- 主催 美しい景観を創る会
(<http://www.utsukushii-keikan.net>)
神戸市
- 後援 国土交通省近畿地方整備局
- 問い合わせ先
神戸市都市計画総局計画部地域支援室
TEL:078-322-5484
FAX:078-322-6096
E-mail:keikan@office.city.kobe.jp

プログラム

- メッセージ「美しい景観を創る会」からの呼びかけ
伊藤 滋 氏(早稲田大学特命教授)
- 基調講演 「貴重な星 — ユニークな街」
新宮 晋 氏(彫刻家)
- パネルディスカッション
「美しい景観創出と神戸の都市、地域づくり」
パネリスト
伊藤 滋 氏(早稲田大学特命教授)
中村 良夫氏(東京工業大学名誉教授)
安田 丑作氏(神戸大学工学部教授)
浅木 隆子氏(北野・山本地区をまもり、
そだてる会会長)
藤本 貴也氏(国土交通省近畿地方整備局長)
コーディネーター
森野 美徳氏(都市ジャーナリスト)



来館者、100万人突破!

1月10日11時45分にまちづくり会館の来館者は、100万人になりました。
100万人目の来館者は、神戸市西区にお住まいの山田さんご夫妻で、「よく神戸駅から三宮へ歩きます。その時はまちづくり会館に立ち寄り、1階の展示を見ることにしています。今回は、新聞で『空から見た震災復興写真展』を知ったので見に来ました」とのことでした。

ホール・会議室の利用受付が、3か月前になります

ホール・会議室の利用受付が、
現在、利用月の「前月の最初の開館日から」となっていますが、
平成18年4月1日(土)の受付から「3か月前の最初の開館日から」となります。
その月の最初の日が休館日の時は、次の日になります
のでご注意ください

受付開始日	利用する日
4月1日(土)	4月、5月、6月、7月分
5月1日(月)	5月、6月、7月、8月分
6月1日(木)	6月、7月、8月、9月分

まちづくり会館展示のお知らせ

1階オープンギャラリーの展示

期間	内容・テーマ	主催者
2月 2日(木)~14日(火)	ひょうごポストカードコンクール	兵庫区役所
16日(木)~28日(火)	北区フォトコンテスト入賞作品展	北区役所

地階ギャラリーの予定

2月23日(木)~28日(火)	第三回須磨火曜スケッチの会(水彩)	須磨火曜スケッチの会
3月 3日(金)~ 7日(火)	ぐるーぷひらの展(油彩)	ぐるーぷひらの
3月10日(金)~14日(火)	障害者アート作品展(油彩・水彩)	兵庫県労働者福祉協議会